

第2章 栃木県気候変動対策推進計画の概要及び進捗状況

1 計画の概要等

(1) 計画策定の趣旨

県では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく計画を平成11（1999）年度に策定し、その後順次改定を行い、県内の温室効果ガスの排出抑制のほか、県自らが排出する温室効果ガスの削減など、環境負荷を低減するために取り組んできた。

また、令和3（2021）年3月に策定し、令和5（2023）年3月に改訂した「栃木県気候変動対策推進計画（2021～2025年度）」では、県全域の温室効果ガス排出抑制計画である区域施策編において、本県における温室効果ガス排出量を、国を上回る、令和12（2030）年度までに平成25（2013）年度比で50%削減※する目標を定めたほか、長期的な目標として「2050年カーボンニュートラルの実現」を目指すこととした。

さらに、本計画を気候変動適応法第12条の規定に基づく「地域気候変動適応計画」にも位置づけ、温室効果ガスの排出削減等対策である『緩和策』と、気候変動による影響の回避・軽減対策である『適応策』を車の両輪として、総合的かつ計画的に推進することとした。

※温室効果ガス排出量の削減目標については、令和4（2022）年3月策定の「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」との整合を図っている。

(2) 計画の概要

ア 位置付け

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第3項に規定する都道府県の「地方公共団体実行計画」及び気候変動適応法第12条に規定する「地域気候変動適応計画」とすると同時に「栃木県環境基本計画」の部門計画として位置付ける。

イ 対象物質

二酸化炭素（ CO_2 ）、メタン（ CH_4 ）、一酸化二窒素（ N_2O ）、ハイドロフルオロカーボン類（ HFCs ）、パーフルオロカーボン類（ PFCs ）、六ふっ化硫黄（ SF_6 ）、三ふっ化窒素（ NF_3 ）の7物質

ウ 本県の温室効果ガス排出量の削減目標

中期目標：令和12（2030）年度に基準年（平成25（2013）年度）比50%削減

最終目標：令和32（2050）年度に温室効果ガス排出実質ゼロ

2 計画の進捗状況

(1) 「2050年カーボンニュートラル実現を目指す緩和策」に関する目標 (区域施策編)

ア 温室効果ガス排出量の削減率

ガス種別温室効果ガス排出量の推移は、次のとおり（表2-2-1）。

表2-2-1 ガス種別温室効果ガス排出量の推移（万t- CO_2 ）

項目	H25(2013) 基準年度	H29(2017) 設定値	R4(2022) 前年度	R5(2023) 現状値	R7(2025) 短期目標	R12(2030) 中期目標
温室効果ガス排出量の 削減率（%）	—	▲10.6	▲20.2	▲23.1	▲32	▲50
産業分野	—	▲7.2	▲24.2	▲22.1	▲27	▲42
業務分野	—	▲22.6	▲34.3	▲35.5	▲44	▲68
家庭分野	—	▲11.8	▲25.5	▲37.6	▲46	▲72
交通分野	—	▲7.0	▲17.0	▲21.1	▲29	▲46

イ 再生可能エネルギー導入容量

表 2-2-2 再生可能エネルギー導入容量の推移（万kW）

項目	R 1 (2019) 設定値	R 6 (2024) 前年度	R 7 (2025) 現状値	R 7 (2025) 目標値
再生可能エネルギー 導入容量（万kW）	262	376 (372)	384	380

※（）内の数値は年次目標値

ウ 造林面積・県内民有林の間伐面積

（第 2 部第 1 章と同）

表 2-2-3 造林面積・県内民有林の間伐面積の推移（ha/年）

項目	R 1 (2019) 設定値	R 6 (2024) 前年度	R 7 (2025) 現状値	R 7 (2025) 目標値
造林面積（ha/年）	408	480 (680)	482 (700)	700
県内民有林の 間伐面積（ha/年）	3,254	3,164 (3,500)	3,027 (3,500)	3,500

※（）内の数値は年次目標値

エ 県庁の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減率

（第 2 部第 4 章 栃木県の率先的な取組の状況に記載）

（2）「県民の生命と財産を守り、将来の成長につなげる適応策」に関する目標

ア 分野別取組の着実な実施

分野別の取組として、自然災害、健康、農業の 3 分野で目標を設定している。分野別目標値の推移は次のとおり。

表 2-2-4 各分野別目標値の推移

項目	R 2 (2020) 設定値	R 6 (2024) 前年度	R 7 (2025) 現状値	R 7 (2025) 目標値
【自然災害】 河川における優先整備区間の整備延長（km）※ ¹	47.7	90.4 (88.6) ※ ⁴	98.9 (97.3) ※ ⁴	97.3
【健康】 熱中症対策を実践している県民の割合（％）	83.0 ※ ³	89.1 ※ ⁵	99.8 ※ ⁶	89
【農業】 気候変動に適応した品種の育成及び生産技術の新規開発件数（件）※ ²	—	2 ※ ⁷ (2) ※ ⁴	4 ※ ⁸ (2) ※ ⁴	9

※¹ 栃木県国土強靱化地域計画

※² 栃木県農業試験研究推進計画

※³ 県政世論調査(R 1 (2019)) (n=1,212)

※⁴（）内の数値は年次目標値

※⁵ とちぎネットアンケート(R 6 (2024)) (n=580)

※⁶ とちぎネットアンケート(R 7 (2025)) (n=545)

※⁷ 気温や降水量の変化に応じ土壌水分・窒素発現等を推定できる土壌管理システムの開発、気候変動に対応した乳用牛の暑熱対策技術の開発

※⁸ 気候変動に対応した大麦系統の開発、トルコギキョウ高温対策技術の確立

イ 市町における地域気候変動適応計画等の策定数

表 2-2-5 県内市町における地域気候変動適応計画等の策定数の推移

項目	R 2 (2020) 設定値	R 6 (2024) 前年度	R 7 (2025) 現状値	R 7 (2025) 目標値
市町における地域気候変動適応計画等の策定数	2 市	23市町	25市町	25市町

ウ 適応策・適応ビジネス等の創出支援件数

表 2-2-6 気候変動対策ビジネス等創出支援補助金交付件数

項目	R 2 (2020) 設定値	R 6 (2024) 前年度	R 7 (2025) 現状値	R 7 (2025) 目標値
適応策・適応ビジネス等の創出支援件数	一件	7 件	7 件	15件